

市債 状況

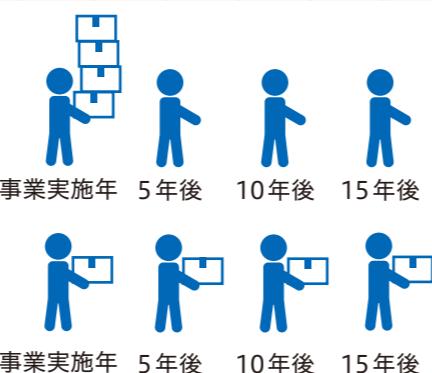
市債現在高

平戸市の借入金である市債の令和6年度末現在高は、令和5年度に引き続き、新規発行額が返済額を下回ったことから、約2億1千万円減少しています。



メモ

○市債を発行しなかった場合
事業実施時の市民のみが負担

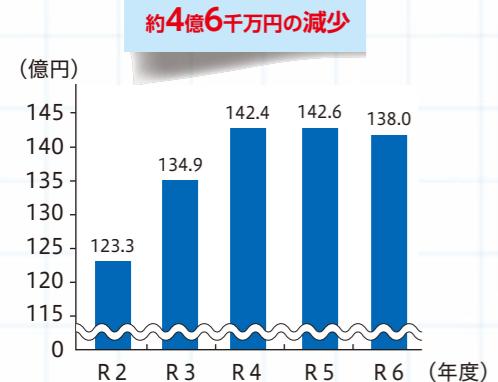


○市債を発行した場合
将来にわたり負担を分割

基金 状況

基金現在高

平戸市の財産である基金の令和6年度末現在高は、財政調整基金や減債基金などに積み立てた一方で、「やらんば!平戸」応援基金や新しいまちづくり基金などの取り崩しで、約4億6千万円減少しています。



メモ

基金には、景気の変動や災害などの緊急時に備えて積み立てておき、財源不足の際に活用する「財政調整基金」のほか、それぞれの目的(※)のために積み立てや取り崩しを行っている基金があります。
※「やらんば!平戸」応援基金では、ふるさと納税などの寄付金を積み立て、まちづくりや人口減少対策に活用しています。

財政 状況

主要な財政指標

市税など自主財源に乏しい財政構造ですが、財政状況は健全な状態を維持しています。引き続き、持続可能な財政の見通しを立て、健全な財政運営を目指します。

メモ

経常収支比率 人件費、扶助費、公債費などのように毎年経常的に支出される経費に、地方税、普通交付税など使い道を決められていない歳入がどの程度使われているかを示したもの。この比率が低いほど財政に余裕があります。

将来負担比率 自治体の借入金(市債)など現在抱えている負債額が、その自治体の財政規模に対する割合を示したもの。この比率が低いほど将来の財政負担が少ないといえます。

実質公債費比率 自治体の借入金(市債)の返済額(公債費)が、その自治体の財政規模に対する割合を示したもの。25%を超えると早期の健全化を求められます。

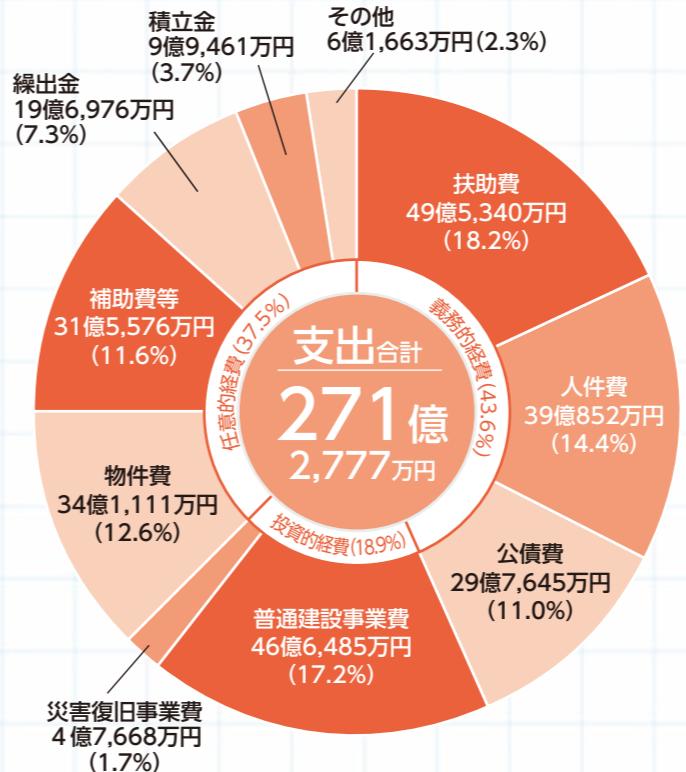
平戸市の財政状況

平戸市では、毎年2回「平戸市の財政状況」を公表しています。今回は、「令和6年度決算の概要」および「令和7年度上半期の執行状況」についてお知らせします。

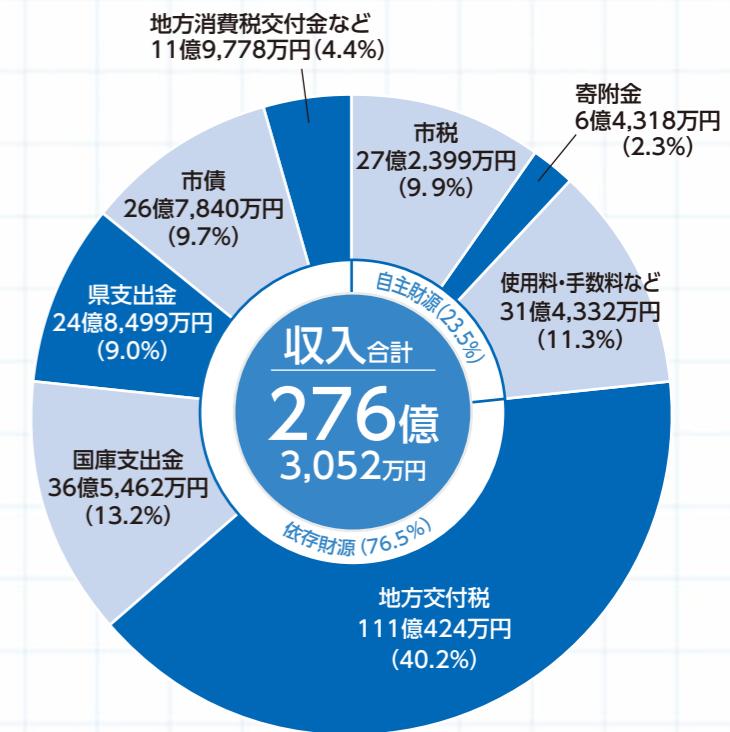
財政課財政班 ☎22-9112

令和6年度決算の概要

支出の内訳グラフ (性質別)



収入の内訳グラフ



■決算の状況(一般会計)

1億3,122万円の黒字

令和6年度の一般会計の決算額は、収入が276億3,052万円、支出が271億2,777万円となり、令和7年度への繰越事業の財源を差し引いた実質収支は1億3,122万円の黒字となりました。

区分	令和6年度	令和5年度	対前年度増減額
歳入総額	276億3,052万円	265億5,665万円	10億7,387万円
歳出総額	271億2,777万円	256億6,572万円	14億6,205万円
差引額	5億275万円	8億9,093万円	▲3億8,818万円
翌年度に繰越すべき財源	3億7,153万円	4億1,984万円	▲4,831万円
実質収支	1億3,122万円	4億7,109万円	▲3億3,987万円

令和7年度上半期(4月~9月)執行状況

執行状況(令和7年9月30日現在)

◎一般会計(収入)

区分	予算現額	収入済額
市 税	28億915万円	15億6,040万円
地方譲与税など	10億2,830万円	5億6,295万円
地方交付税	103億6,400万円	66億9,302万円
使用料・手数料	3億731万円	1億3,018万円
国庫支出金	42億3,133万円	8億5,434万円
県支出金	24億5,135万円	1億7,853万円
寄附金	8億1,513万円	6,868万円
市債	28億70万円	0万円
その他	43億297万円	3億680万円
収入合計	291億1,024万円	103億5,490万円

◎一般会計(支出)

区分	予算現額	支出済額
総務費	50億4,110万円	12億7,015万円
民生費	79億902万円	29億2,750万円
衛生費	29億984万円	11億7,676万円
農林水産業費	24億2,455万円	3億6,473万円
商工費	9億3,446万円	4億3,808万円
土木費	21億2,266万円	2億5,093万円
消防費	14億1,221万円	4億566万円
教育費	27億949万円	10億4,642万円
公債費	30億5,751万円	15億2,854万円
その他	5億8,940万円	1億991万円
支出合計	291億1,024万円	95億1,868万円

◎特別会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険(事業勘定)	45億8,996万円	18億118万円	16億7,592万円
国民健康保険(度島直診勘定)	7,465万円	634万円	2,813万円
国民健康保険(大島直診勘定)	1億3,800万円	1,375万円	5,718万円
後期高齢者医療	5億6,075万円	1億7,345万円	1億7,945万円
介護保険(保険事業勘定)	45億8,897万円	17億4,807万円	18億3,995万円
介護保険(サービス事業勘定)	2,790万円	994万円	1,277万円
農業集落排水事業	1,231万円	109万円	487万円
あづち大島いさりびの里事業	1,953万円	980万円	703万円
駐車場事業	625万円	248万円	250万円
工業団地事業	3億2,940万円	0万円	429万円

◎企業会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額
水道事業	収益的収支	9億9,969万円	4億672万円
	資本的収支	10億2,492万円	7,456万円
病院事業	収益的収支	26億7,977万円	11億2,194万円
	資本的収支	5億991万円	240万円
交通船事業	収益的収支	3億955万円	7,682万円
			1億698万円

企業会計とは

民間企業と同じようにその仕事自体に収益があり、その収益で支出をまかなう事業をまとめた会計です。

企業会計

特別会計とは

国民健康保険は国民健康保険税、介護保険は介護保険料など、特定の収入で特定の支出をまかう事業をまとめた会計です。

特別会計

◎R6決算額

水道事業			
収益的収支	収入	10億8,500万円	
	支出	9億8,010万円	

病院事業			
収益的収支	収入	22億8,195万円	
	支出	23億8,161万円	

交通船事業			
収益的収支	収入	3億943万円	
	支出	2億9,062万円	

※収益的収支・・・経営活動により発生するすべての収入と支出
※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

市民1人あたりでみる決算(一般会計)

(令和7年3月31日現在の人口27,594人で計算)

【歳出】

区分	金額	(前年比)	区分	金額	(前年比)
民生費	27万4,000円	(+3.3%)	市税	9万8,700円	(▲1.6%)
総務費	15万4,800円	(+1.3%)	寄附金	2万3,300円	(▲20.5%)
公債費	10万7,900円	(+1.4%)	使用料・手数料など	11万3,900円	(+10.7%)
衛生費	9万6,500円	(▲0.6%)	地方交付税	40万2,400円	(+3.2%)
教育費	9万3,300円	(+18.9%)	国庫支出金	13万2,500円	(▲4.5%)
農林水産業費	8万500円	(+17.5%)	県支出金	9万円	(+24.7%)
土木費	6万3,200円	(▲1.9%)	市債	9万7,100円	(+42.9%)
消防費	4万9,800円	(+51.3%)	その他	4万3,400円	(+16.2%)
商工費	3万6,600円	(+38.4%)			
その他	2万6,500円	(+78.8%)			

歳出は98万3,100円

歳入は100万1,300円